



国際情勢と経済の変動に伴い増加する訴追・訴訟リスク リスク削減策と初動対応を実践的に解説

5月9日(木) 2:00-4:00 PM

<セミナー概要>

国際政治や経済が急速に変動するなか、日本企業が直面する法的リスクも変化・増大しています。本セミナーでは、国際政治の影響で増加する訴追や訴訟、そして経済や景気の節目に増えやすい法的リスクについて、米国での現状と展望について実務的に解説したうえで、今とっておくべき対応策と、いざという場合の初動対応の仕方について実践的にアドバイスします。 *このセミナーは日本語で行われます。

<カリキュラム内容>

- 米国内政治の影響で増加する訴追・訴訟（個人データ管理、独禁法訴追、各種賄賂事件、トランプ政権によるターゲット、反トランプ訴追への巻き添え、行き過ぎた利益追求への批判、#MeToo、等）。
- 経済と景気の変動期に増加しやすい訴追・訴訟（データ・IoT等のテック事業に関する規制と訴追、経営権争奪戦、会計粉飾、株主投資家訴訟、資産評価額の変動、不良債権、契約等）。
- その他、これから増加が予測される案件。
- それぞれの案件が起きる原因と構造、陥りやすいパターン、その回避策。
- リスクの顕在化より前にしておきたいこと。
- どのようにリスクを洗い出すか。リスクの塩漬けの適切な避け方。
- 発覚したリスクへの対応。経営判断上は対応困難なリスクにはどう対応するか。
- 刑事訴追における初動対応（一斉捜査の朝、その時当局側では何が起きているか、その対応）
- 民事訴訟における初動対応（訴状を受け取ったら最初にすること、原告側では何が起きているか、等）



齋藤 康弘
Saito Law
Group PLLC

<講師>

慶大卒（法律1989年）。セントジョーンズ大学ロースクール卒（Juris Doctor 1992年）。アメリカ連邦裁判官補佐官（1992年から1994年）。米国大手法律事務所、企業訴訟・企業不祥事を担当し、訴訟パートナーやプラクティス部門リーダーを歴任（1994年から2011年）。企業訴訟と企業不祥事の対応に特化した法律事務所Saito Law Groupを設立（2011）。山一証券、カネボウ、日興証券、グローバル・クロッシング、アーサーアンダーセン、リーマンブラザーズ、オリンパス、パナマ文書・パラダイス文書関連、米イラン核合意（人質交換）関連、海外賄賂案件、#MeToo案件、等、時代を象徴する企業不祥事事件を数多く手掛けてきた。主に日米欧の金融機関・商社・メーカー等を代理。不祥事案件におけるChairman/CEO等シニアエグゼクティブの代理も多数。

日時: 5月9日(木) 2:00 - 4:00 pm

場所: 5F Nippon Club (145 West 57th Street, New York, NY 10019)

会費: JCCI 会員: \$30 / 一般: \$40

Saito Law Group PLLC Law Seminar • Thursday May 9, 2:00 - 4:00 pm

Name: _____ Title: _____ E-mail: _____

Company: _____ Number Attending: _____

Japanese Chamber of Commerce and Industry of New York, Inc. 145 W. 57th Street, New York, NY 10019 • (212) 246-8001 • info@jcciny.org
(Payment due in full prior to event. 48 hours cancellation notice required for refund)